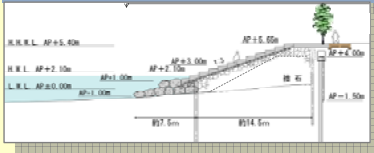
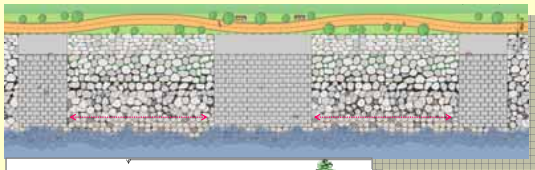


## 2丁目工事着手から4年後の検証・評価

### < 景観・親水性 >



平成22年11月

1

## 個別目標：利用・・・人々と三番瀬の触れ合いの確保

### 目標達成基準1

三番瀬の海岸として好ましい景観が形成されること。

### 目標達成基準2

人々と三番瀬の触れ合いが確保されていること。

### 平成19年度の評価結果

#### 景観の評価

- ・H18年度の護岸改修イメージは、現時点において改修前の護岸や H17年度のイメージよりも景観に関して肯定的に評価されたものとする。
- ・ただし、護岸のより“自然的な”イメージについては今後も検討の余地があるものと考えられる。
- ・石積護岸にした場合、ゴミの問題が発生することに関しては、今後の検討課題である。

#### 親水性の評価

H18年度の護岸改修イメージは、現時点において改修前の護岸やH17年度のイメージよりも触れ合いの確保に関して肯定的に評価されたものとする。ただし、護岸の“安心・安全な利用”や“楽しさ”について、今後、バリエーションの検討を行う上で改善策を検討する必要がある。

平成19年度の評価結果をうけて、平成20～22年度は、護岸検討委員会において護岸のバリエーションの検討、緑化試験の計画・施工・モニタリングおよび検証・評価、砂つけ試験の計画・施工・モニタリングおよび検証・評価の取り組みを行った。

2

# 景観・親水性の向上にむけた検討の取り組み

## 1. 護岸バリエーションの検討

H22年度は第1期まちづくり地区前面の護岸バリエーションの検討を中心に行った。

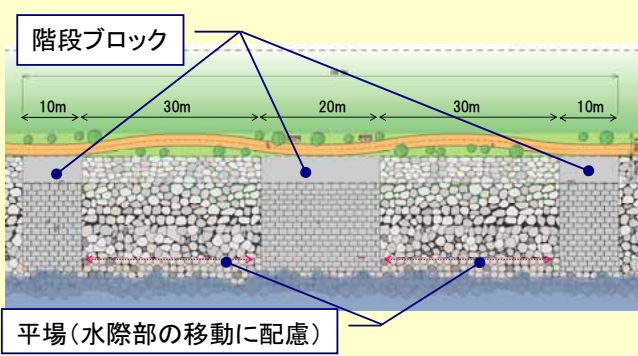


## 護岸バリエーションについての主な意見と護岸検討断面への反映

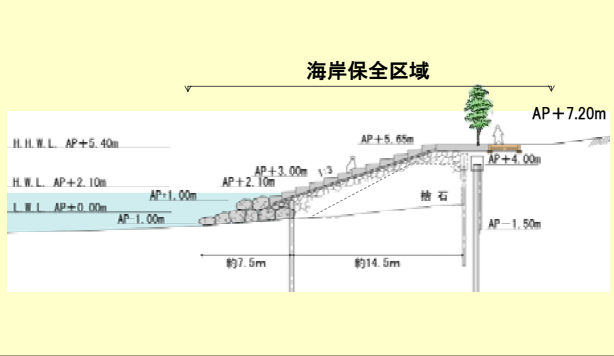
| これまでの委員会・勉強会での主なご意見  | 第1期まちづくり地区前面<br>護岸への配慮事項等  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・区間全体にバリエーションをするのではなく、公園前や自然再生の場の擦り付け部など区間を設定して行った方が良い。その他の基本断面でできる区間は、工事予算分を進捗させてはどうか。</li> <li>・公園前の施工を後にした場合、工事進捗が遅れないか確認してほしい。</li> <li>・事業進捗が遅れない範囲でバリエーションの検討を進めるべきである。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園前(100m)をバリエーション区間とし、その他の区間は基本断面とした。</li> <li>・基本断面を先行して施工する方針とする。(事業の進捗に支障は無い点を確認した)</li> </ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・バリエーション区間は親水性を確保すべき。法先に砂付けして安全に海に親しめる空間を望む。</li> <li>・断面を大きく切り込んで、砂を付けやすくできないか。また、切り込んだ場合に背後地をどの程度まで上げる必要があるか。</li> <li>・親水性のある護岸として整備して、砂をつける・つけないの議論はその後である。</li> <li>・100mしかないのだから断面を統一しても良いのではないか。</li> <li>・階段ブロックの凹部に砂を入れるのはおもしろいと思う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本断面を切り込んで整備した場合の課題を整理した。</li> <li>・親水性を確保するための護岸断面を検討している。(継続審議中)</li> <li>・バリエーションについて、今後も継続して「砂付け」及び「安全性の確保」を中心に課題点を整理し集中的に議論する。</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・背後地の植栽等の整備は重要である。どの国でもウォーターフロントへの配慮は求められる。</li> <li>・市所有地にかかる海岸保全区域背後の11m区間は、ぜひグリーンベルトを整備してほしい。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・護岸と一体となったグリーンベルトの整備に向けて継続して議論する。</li> </ul>  |
| これまでの委員会・勉強会での主なご意見  | 第2期まちづくり地区前面<br>護岸への配慮事項等  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然石(1t石)の色が白すぎるため、できる限り暖色系を採用すべきである。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の多いことが想定される天端付近には、可能な範囲で暖色系の自然石(1t石)の設置する。</li> </ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・バリエーション区間の階段ブロックは、三番瀬ならではのデザインを検討したい。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用と景観に配慮して、三番瀬ならではの整備案を検討した。</li> </ul>  |

# バリエーション意見を踏まえた検討（第1期まちづくり地区前面）

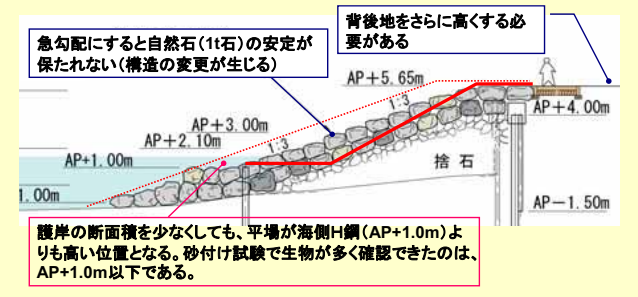
## 平面配置の検討(素案)



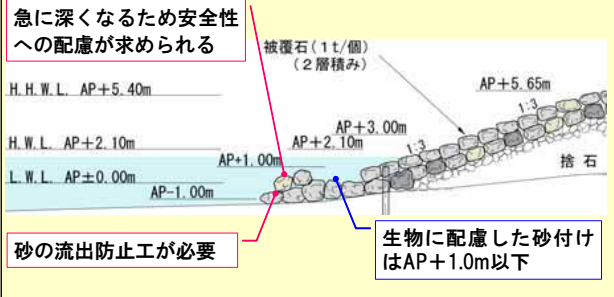
## 断面形状の検討(素案)



## 護岸構造の検討・留意点等抽出



## 細部構造(法先)の検討・留意点等抽出



バリエーションに関する意見を踏まえ、導入すべき機能について平面配置、規模、断面形状、細部構造の観点から検討している。今後も継続して議論する。

## 景観・親水性の向上に向けた検討の取り組み

### 2. 護岸の緑化試験結果と検証・評価

資料4-3②参照

### 3. 砂付け試験の検証・評価

資料4-3③参照